

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	台湾
滞在都市 (☆)	台北
留学先大学等名 (☆)	国立台湾大学
留学先での所属学部/研究科 (☆)	管理学院
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2017年 9月 3日
渡航先からの出国日 (☆)	2018年 1月 16日
渡航先国での滞在期間 (☆)	
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	General Chinese course
履修期間	9/15~1/13
授業時間 (○分×△回)	100分×週3回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	3
履修科目名称	Statistics
履修期間	9/15~1/13
授業時間 (○分×△回)	150分×週2回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	3
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部  
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	日本人は1割ほど。英語で実施される授業を履修したため、履修者に占める留学生全体の割合は5割ほど。
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	試験・課題・グループワーク・出席
履修科目の制限等（あれば）	特になし

(英語圏以外の場合) 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	授業は英語のみ
語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	私は利用しませんでした。
授業内での留学生に対するサポート等	学部のボランティアバディーが一人ついてくれた。
その他	

## 2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	数多くあった。食堂は総合図書館の隣にあるものをよく利用した。
図書館について	総合図書館のほかに、社会学院の図書館があり、後者は新しく快適に学習できた。
保健センター等の有無	あり。学内に救急車が常駐。
クラブ・サークル等について	数多く存在しており、学期はじめにオリエンテーションが開かれ、留学生も多く参加していた。
留学生へのサポート	学部のボランティアバディーが一人ついてくれた。
オリエンテーション等学校主催の行事について	学部のオリエンテーションとサークルのオリエンテーションがはじめにあった。
現地の学生との交流について	部活動やバディーの制度があった。
他の留学生との交流について	授業や部活動で交流できる。
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

## 3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	visitor
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	一週間程度で手続きできた。大阪でビザは受け取れるので比較的手続きは楽だった。
利用航空会社	ピーチ・ジェットスターアジア
入国の際の現地空港名	桃園国際空港
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	最も簡単な移動手段は MRT という電車。ほかにも台北駅までのバスや、個人タクシー(見た目は怪しい)がある。

入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートのみの提示。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	パスポートのみの提示。
その他	

#### 4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	無
奨学金名	
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	10万円ほど
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	なぜかクレジットカードは銀行で使えなかった。
留学中に利用した銀行名	台湾銀行
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	私は開設していないが、知り合ったほかの日本人留学生の中には台湾銀行で開設している人もいた。
デビットカードの使用について	使用した。クレジットカードではATMが使えなかったが、デビットカードでは使えた。
日本からの送金方法について	日本の銀行口座に振り込み、それをデビットカードを利用してATMから引き出していた。
1ヶ月の生活費（目安）	寮費こみで6万円ほど
その他	

#### 5. 暮らしに関する情報

##### 5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	学生寮
家賃	ひと月 7000NTD（日本円では約3万円）
住居を探した方法・時期	入学の手続きを日本で一通り済ませたら、自動的に割り振られた。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	ハンドキャリーのみ
その他	

##### 5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊はできない（設備がない）ため基本的に学食かコンビニが多かった。
1ヶ月の食費	2万円から3万円ほど。

その他	
-----	--

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	普段使っているシムフリーの携帯を持って行って、空港でシムを契約した。
インターネットについて (Wi-Fi 環境等)	学生寮にはWi-Fi はなく、その代わりに有線が使えた。
コンピュータについて	
郵便について	学内に郵便局があり、寮費の振り込みや国際郵便などで利用した。
交通機関について	MRT という電車が台北中にあり、移動手段として便利だった。タクシーも日本に比べるとかなり安価であったため困った時にはよく利用した。
治安について	台北は日本と同じぐらい安全な場所だと感じた。
保険について	民間の保険会社を利用して保険料を抑えた。
医療機関・薬について	
気候と服装について	基本的に夏服。必要となった際は現地で購入すればよく、日本からそれほど多く持っていく必要はない。
普段の買い物について	夜市が多かった。
娯楽・行事について	観光地が近いので週末によく出かけた。
日本語の使用について	日本人留学生と話すとき以外は利用しなかった。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	デビットカードがなかったら相当困っていたと思う。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	中国語の勉強
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について (セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等)	
留学中の就職活動について (海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターンシップ等)	

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	英語の勉強はオンライン英会話を利用して行っていた。
留学中の学習方法、工夫したこと等	正直語学力が低いので、授業に参加できるようにするために、必ず最初に発言できるよう、アサインメントは必ずやって授業に臨んだ。
留学後にどれくらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	英語は普通に話せるぐらいにはなった。ただ、ヨーロッパの留学生のようにはなれなかった。

8. その他

留学して得られたこと	部活動を通して上っ面だけじゃない友達ができる。
留学中に困ったこと	なかなかお金をおろせなかった。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してくだ

さい。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

この文章では、半年間の留学を通してやってよかったと思うことを書こうと思います。前半は学業について、後半は課外活動について書きます。

学業面についてですが、僕は主に台湾大学で統計について学ぶことになりました。正直に言って、語学力がほかの留学生に比べて低い自覚はあったので、得意な統計ならついていけるかなといった後ろ向きな理由からの履修でした。授業が始まってみると、日本の授業とは違って授業は基本的にグループワークがメインで、なかなかグループに貢献できないのに悩みました。そこでくじけるのではなく、何とか自分のできることでグループに貢献しようと試行錯誤できたことが、学業面でやってよかったと思うことです。議論が進んでからはなかなか他の留学生の英語のスピードについていけないので、できるだけ最初に発言できるようにリーディングアサインメントは隔々に目を通しました。そうすることで、何とかみんなについていけるようになったと思います。

次に課外活動についてですが、僕は部活動として柔道部を選びました。僕は柔道の有段者であり、かなりブランクはあったのですが、台湾大学の柔道部には白帯の学生も多く、柔道の技をたくさん現地の学生に教えることができました。そういったことを通して必然的に授業よりも部活動で出会った学生との方が多く話したので、仲良くなれた気がします。特に2度台湾で柔道の大会に出場したのですが、台北で開かれた大会では2位になれましたし、台中で開かれた大会では、結果自体は芳しくなかったものの柔道部の友達の実家にステイさせてもらえました。後で一番仲良くなった友人に聞いたのですが、僕のような留学生がここまで深く部活動にかかわるのは稀なのだそうです。確かに、最初の一步を踏み出して入部するのはかなりの抵抗があり、勇気が必要だったように思えます。しかし、入部したことで建前的な異国の友人ではなく、昔から連れ添った親友のような友達を多く作れたと思います。これが課外活動についてやってよかったことです。

以上、2点についてやってみてよかったことを書きましたが、総じて言えることは勇気がかなり重要だということではないかと思います。何をするにもどうしても抵抗がありますが、それを乗り越えると得られるものは大きかったように思います。